

4月臨時会
4月23日

議長・副議長を新たに選出

第1回臨時会では、「平成24年度一般会計補正予算」など、市長提出議案5件を、議長を除く21人の議員で採決の結果、原案のとおり承認・同意しました。また、議長・副議長が新たに選出されました。

議案採決の結果

承認(専決処分)◆税条例の一部改正
◆平成24年度一般会計補正予算 ◆平成24年度介護保険特別会計補正予算(総員賛成で可決) ◆国民健康保険税条例の一部改正(18人賛成で可決) 同意◆固定資産評価員の選任

議長・副議長就任あいさつ

私たちは、4月の臨時会において議長・副議長に就任いたしました。職責の重さを強く自覚し、開かれた議会づくりに誠心誠意努めてまいります。また、この4年間、議会活性化特別委員会を中心に議会の改革、活性化、そして広報など議会のあり方について議論を積み重ねてまいりました。今年度は、その内容を一つ一つ着実に実行に移していく時と考えております。

私たちは「with ゆう 市議会」の思いで、身近で頼りになる議会を目指します。市民の皆様には、今後とも変わらぬご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



東山 徹議長、新良守克副議長

西武鉄道5路線の存続・維持を求める決議を可決



先般、(株)西武ホールディングスの筆頭株主であるサーベラスが、株式の公開買い付けの実施に当たり、国分寺線など西武鉄道の一部路線の廃止などを求めていると報道がありました。鉄道の公共性を考えると、このことは極めて深刻な問題であることから、狭山市・所沢市・飯能市・入間市のダイアプラン4市の市議会では、鉄道路線の存続などに関する決議を行い、6月10日、各市の議長が決議文を提出しました。決議文を受け取った西武ホールディングスの後藤社長は、「路線の廃止は考えていない、これから路線の価値をさらに高めていく」と改めて決意を述べました。



6月10日、西武鉄道本社で決議文を西武ホールディングス・後藤高志社長、西武鉄道・若林久社長に手渡す東山議長(左)

西武鉄道5路線の存続・維持を求める決議

株式会社西武ホールディングスの筆頭株主であるサーベラスは、公開株式買付けを実施するにあたり、西武鉄道株式会社の西武秩父線や国分寺線、山口線など5路線の廃止を提案するとの報道があった。こうした中であって、本市をはじめ、所沢市、飯能市、入間市で構成する埼玉県西部地域まちづくり協議会では署名活動を展開し、5月20日には株式会社西武ホールディングス及び西武鉄道株式会社に対し、鉄道路線の維持等を求める要望書を321,194名の署名簿を添えて提出した。いうまでもなく鉄道は鉄道利用者、沿線

居住者のみならず社会的に大きな意義を持つ公共性の高い事業である。日々、通勤や通学など市民の生活基盤として利用されている各路線が報道にあるように廃止された場合の混乱、影響は計り知れないものがある。よって、狭山市議会は株式会社西武ホールディングス及び西武鉄道株式会社に対し、地域住民にとって重要な公共交通機関である西武鉄道5路線の存続・維持を強く求めるものである。

平成25年6月4日
埼玉県狭山市議会



中心市街地活性化事業で、にぎわい創出を目的に空き店舗を活用して運営している、「たまり場ショッピング」

6月定例会
6月4日～20日

空き店舗や事業所の調査で地域活性化と雇用創出を

今定例会では、「一般会計補正予算」や「新型インフルエンザ等対策本部条例」など、18議案が市長から、また、議員提出議案として「西武鉄道5路線の存続・維持を求める決議(2ページ参照)」が提出されました。議長を除く21人の議員での採決の結果、原案のとおり同意・可決しました。

主な議案審議(本会議)

◆平成25年度一般会計補正予算

商店街の空き店舗の実態調査や生活保護システム改修などを予算化

《賛成多数(18名)で原案可決》

Q 空き店舗調査では、県の補助金を受け、短期就労者の雇用を創出するのと、ただ、どのような事業を行うのか。

A 市内に26ある商店街にアンケート調査、商店街現地調査、空き店舗調査を8月から12月にかけて、複合的に実施する。空き店舗調